

変貌する世界における都市交通に関するセミナー

日時：平成26年3月27日(木)

場所：ソウルプレスセンター

主催：韓国交通研究院, 国際交通フォーラム (OECD)

韓国交通研究院と国際交通フォーラムは、「変貌する世界における都市交通」という合同セミナーを開催し、韓国、EU、中国および日本から専門家が出席した。

運輸政策研究所からは今橋主席研究員が招待され、「アジア大都市における都市交通」という午後のセッションでのコメントを担当した。同セッションでは、加藤浩徳東京大学大学院教授が「東京における都市鉄道計画の展開」という内容で報告した。ソウル、北京などの事例と低炭素社会への展望に関する報告もなされ、鉄道網の整備と運営、混雑料金や自動車の流入規制などの論点に関し、各国からの専門家によって熱心な討議が行われた。

セッション：アジアの大都市での都市交通

「韓国における都市交通政策からの示唆」

Sang-kyu Hwang (韓国交通研究院)

「東京における都市交通の挑戦」

加藤浩徳 (東京大学大学院)

「北京における都市交通の挑戦」

Chu Haoran (中国交通計画研究所)

「都市の発展、交通とCO₂の排出」

Aimee Aguilar Jaber (国際交通フォーラム (OECD))

コメンテータ:

Kee-yeon Hwang (ホンイク大学校)

Won-yong Kwon (ソウル大学)

Claus Wallenstein (MAN Truck & Bus Korea Ltd.)

Yong-Seog Kim (韓国国土交通部)

Andreas KOPP (世界銀行)

今橋 隆 (運輸政策研究所)

